

令和4年5月24日

堺市

上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事の設計図書の訂正について（通知）

上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事の設計図書等（図面及び参考内訳明細書）について、下記のとおり、一部訂正しますので、お知らせいたします。

現在、堺市入札情報公開システムに掲載されている書類は訂正済みですので、再度、ダウンロードしていただくか、お持ちの書類を訂正していただきますようお願いいたします。

なお、開札予定日時、入札書の提出期間の変更はありません。

ご迷惑をお掛けし、お詫び申し上げます。

記

1. 図面の訂正

・訂正箇所

図面 A/03、A/10、A/39

2. 参考内訳明細書の訂正

・訂正箇所

参考内訳明細書 P30

3. 図面の訂正および補足説明について

図面の訂正後抜粋資料において、項目の訂正および補足説明を行っている部分について、雲マークで表現していますので、訂正前訂正後の図面を比較し、ご確認ください。

4. 参考内訳明細書の訂正について

参考内訳明細書の、訂正抜粋資料において、項目の訂正を行っている部分について、網掛けで表現していますので、訂正前訂正後の参考内訳明細書を比較し、ご確認ください。

図面正誤表

工事名称：上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事

図面No.	図面名称	訂正箇所	誤	正	備考
A/03	特記仕様書 (No3)	図面内 表記内容	めっき鋼板	カラーガルバリウム鋼板	訂正
A/10	工事範囲一覧表	図面内 表記内容	フッ素ガルバリウム鋼板	カラーガルバリウム鋼板	訂正
A/39	集会所 改修 平面図、 立面図、天井伏図	図面内 表記内容	フッ素ガルバリウム鋼板	カラーガルバリウム鋼板	訂正

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 防水工事 (Waterproofing Work), 合成高分子系ルーフィングシート防水 (Synthetic High Polymer System Roofing Sheet Waterproofing), 塗膜防水 (Coating Waterproofing), ケイ酸質系塗布防水 (Silicate-based Coating Waterproofing), 保証書 (Warranty), 漏水試験 (Leakage Test), 施工 (Construction), シーリング (Sealing), 接着性試験 (Adhesion Test).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 施工一般 (General Construction), 既存防水の処理 (Treatment of Existing Waterproofing), 天然石張り (Natural Stone Cladding), テラゾタイル張り (Terrazzo Tile Cladding), テラゾブロック張り (Terrazzo Block Cladding), 壁の石張り工法 (Stone Cladding Method for Walls), 床及び階段の石張り (Stone Cladding for Floors and Stairs), 陶磁器質タイル (Ceramic Tiles), 有機質接着剤 (Organic Adhesive), 陶磁器質タイル型枠先付け (Ceramic Tiles Formwork Pre-assembly), 役物 (Accessories), 見本焼き (Sample Firing), 伸縮調整目地 (Expansion Joint Adjustment), 張付け材料の厚さ (Thickness of Laying Material).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 木材 (Wood), 表面仕上げの程度 (Degree of Surface Finishing), 集成材 (Engineered Wood), 接着剤 (Adhesive), 木材保存剤 (Wood Preservative), 床板張り (Floor Boarding), 防虫処理 (Ant Treatment), その他 (Others), 長尺金属板葺 (Long-span Metal Sheet Laying), 下葺材料 (Underlayment Material), 折板葺 (Bent Sheet Laying), 保証書 (Warranty), とい (Remarks), とい受け金物 (Remarks Hardware), ステンレス表面仕上げ (Stainless Steel Surface Finishing).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (Aluminum and Aluminum Alloy Surface Treatment), 鉄の垂鉛めっき (Iron Zinc Plating), 軽量鉄骨天井下地 (Lightweight Steel Frame Ceiling Underlayment), 軽量鉄骨壁下地 (Lightweight Steel Frame Wall Underlayment), 手すり及びタラップ (Handrails and Staircases), 金属成形板張り (Metal Formed Sheet Laying), アルミニウム製塗布 (Aluminum Coating), モルタル塗り材料 (Mortar Coating Material), 床コンクリートの直均し仕上げ (Leveling of Concrete Slab).

訂正前

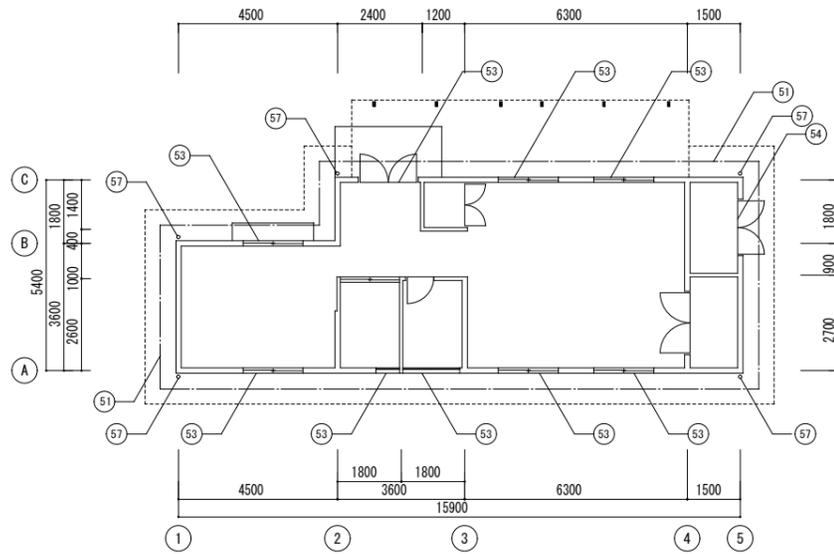
Table with 4 columns: 年次 (Year), 改訂 (Revision), 工事名称 (Project Name), 図面名称 (Drawing Name), 縮尺 (Scale), 製作者 (Author), 図面番号 (Drawing No.). Includes dates from 1998 to 2014 and project details for 上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事.

工事範囲一覧表				工事範囲一覧表				工事範囲一覧表			
棟名	記号	改修項目	改修内容	棟名	記号	改修項目	改修内容	棟名	記号	改修項目	改修内容
1 棟 共 通	①	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕 脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	1 棟 共 通	①9	鋼製手摺 (階段)	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 ((19) -1) 仕様、シーリング打替え箇所は設計図書A-30による。	集 会 所	⑤3	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(9 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
		(バルコニー面)	②0		アルミ手摺 (階段)	中性洗剤にてクリーニングを行う。((19) -2)	⑤4		鋼製建具	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	
	②	(裏面)	②1		鋼製手摺 (窓)	下地調整 (RB種) の上、DP塗替えとする。 仕様は設計図書A-36による。	⑤5		巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	
	③	(EV)	②2		物干金物	・アルミ製 (100 箇所) 中性洗剤にてクリーニングを行う。	⑤6		屋根	棟金物撤去 既存カラーベスト 存置の上アルファルトルーフィング敷きフッ素ガルバリウム鋼板 t0.5mm 縦ハゼ葺き (カバー工法) 既存撤去、新設 カラーVPφ100 スチール製溶融亜鉛メッキ支持金物	
	④	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、吹付タイル〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②3	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (20 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)		⑤7	縦樋	中性洗剤にてクリーニングを行う。
					②4	堅樋	・支持金物取替え (スチール製 溶融亜鉛メッキ) ・掴み金物足元廻りは、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		⑤8	レンジフード	中性洗剤にてクリーニングを行う。 面台は、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(2 箇所)
	⑤	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②5	鋼製手摺・たて格子	既存鋼製手摺・目隠しパネル撤去の上、アルミ製手摺に取替え。目隠しパネル: アルミ複合板 t=6.0 (芯材:石綿セメント板) A-31~35 撤去の際は仮設計面図にある通り、入居者の落下養生手摺等施すこと。笠木天端は、不陸調整の為CM-2で平滑にする。		⑤9	軒樋	塩ビ製既存軒樋 取替え (塩ビ製角樋 120×120) 固定金物 取替 (スチール製 溶融亜鉛メッキ)
					②6	ステンレス棟名称版	中性洗剤にてクリーニングを行う。(4 箇所)		⑥0	目地 (打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング (PU-2) 打替えとする。
	⑥	軒裏 (庇)	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②7	ステンレス階段表示板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(25 箇所) WxH=130x255		⑥1	設備盤等 (設備工事)	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
					②8	ステンレス室名板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=270x135		⑥2	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、吹付タイル〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。
	⑦	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、吹付タイル〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②9	ステンレス揭示板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所) WxH=720x410		⑥3	目地 (打継、誘発、化粧)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(2 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
					②9	ステンレス集合郵便受け	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所)				
	⑧	笠木・面台	浮き、クラック、露筋、欠損等の笠木改修を行う。 ・防水モルタル面台部の浮きは、エポキシ樹脂注入とする。 ・防水モルタル面台部以外の浮きは、下地調整材〔(下地:アスベスト含有)〕除去の上、部分はずりを行い清掃後、既調合補修モルタル塗りとする。 ・エアブロー工法にて清掃、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。〔⑨既設手摺撤去新設部に限り下地調整厚塗 (CM-2) を用いる。〕 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		③0	ドレン (ストレーナー含)	中性洗剤にてクリーニングの上、ノンタール系エポキシ樹脂塗装替えとする。		⑥4	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(300 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
					③1	隔板 (W1,075 H1,800)	・破損部 (2 箇所) は、破損部 (W1,075 H1,800) ケイカル板 t=6.0 (アスベスト含有) 撤去の上、新設 (ケイ酸カルシウム板 t=6.0、素地ごしらえ (B種)、EP-G塗装とし、避難方向表示を行う。取外し期間中は進入防止措置を行うこと。 ・破損部以外 (44 箇所) は、下地調整 (RB種)、EP-G塗替えとし、避難方向表示を行う。 ・枠 (スチール製 溶融亜鉛メッキ) は、下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 ・〔アスベスト含有〕部分の撤去方法は、特記仕様書 (No. 6) による。		⑥5	鋼製建具廻り 手摺足元等	変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。 (A- 28、A- 30)
	⑨	(腰窓、換気扇)	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		③2	屋上ハッチ (タラップ含)	・屋上ハッチ (600φ) :SUS製、既存利用。 ・タラップ (L=500、22φ3段) :SUS製、既存利用。 ・中性洗剤にてクリーニングを行う。 ・昇降路: 下地調整 (RB種) の上、複層塗材 (E) 塗りとする。		⑥6	排水溝 (バルコニー)	ケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(巾木共)
					③3	昇降機扉	下地調整の上、外部用粘着剤付き塩ビ化粧フィルム貼り。(3M [®] イソックフィルムEXシリーズ 同等品)		⑥7	(階段)	PS扉
	⑩	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		③4	給気扉	下地調整 (RB種) の上、DP塗替えとする。(箇所、両面共) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		⑥8	設備盤等 (設備工事)	既存防水 (モルタル防水) の上 塩ビシート機械固定工法 (リベットルーフ同等品)
					③5	換気扇フード	面台はケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。 中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所)		⑥9	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (1 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)
⑪	庇	浮き、クラック、露筋、欠損等の屋根面改修を行う。 ・天端浮き部分は、エポキシ樹脂注入とする。 ・鼻先浮き部分は、下地調整材〔(下地:アスベスト含有)〕除去の上、部分はずりを行い清掃後、既調合補修モルタル塗りとする。 ・エアブロー工法にて清掃、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。	③6	床下換気口 (鋳鉄製)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(40 箇所)	⑦0	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。			
			③7	エキスパンドメタル	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所)	⑦1	鋼製建具	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。			
⑫	目地 (打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング (PU-2) 打替えとする。	③8	パラボラアンテナ (電気設備工事対応)	移設、復旧。(6 箇所)	⑦2	設備盤等 (設備工事)	既存防水 (モルタル防水) の上 塩ビシート機械固定工法 (リベットルーフ同等品)			
			③9	牛乳受箱	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=235x190	⑦3	屋根	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (1 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)			
⑬	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(300 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	④0	風呂釜取出口	面台はケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。	⑦4	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。			
			④1	駐輪禁止パネル	脱着。(5 箇所) 樹脂製 WxD=450 x 300	⑦5	鋼製建具廻り 手摺足元等	変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。 (A- 28、A- 30)			
⑭	排水溝 (バルコニー)	ケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(巾木共)	④2	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑦6	設備盤等 (設備工事)	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。			
			④3	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑦7	鋼製建具廻り 手摺足元等	変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。 (A- 28、A- 30)			
⑮	(階段)	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	④4	駐輪禁止パネル	脱着。(5 箇所) 樹脂製 WxD=450 x 300	⑦8	排水溝 (バルコニー)	ケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(巾木共)			
			④5	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑦9	(階段)	PS扉	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		
⑯	PS扉	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	④6	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑧0	設備盤等 (設備工事)	既存防水 (モルタル防水) の上 塩ビシート機械固定工法 (リベットルーフ同等品)			
			④7	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑧1	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (1 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)			
⑰	設備盤等 (設備工事)	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	④8	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑧2	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。			
			④9	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	⑧3	鋼製建具廻り 手摺足元等	変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。 (A- 28、A- 30)			

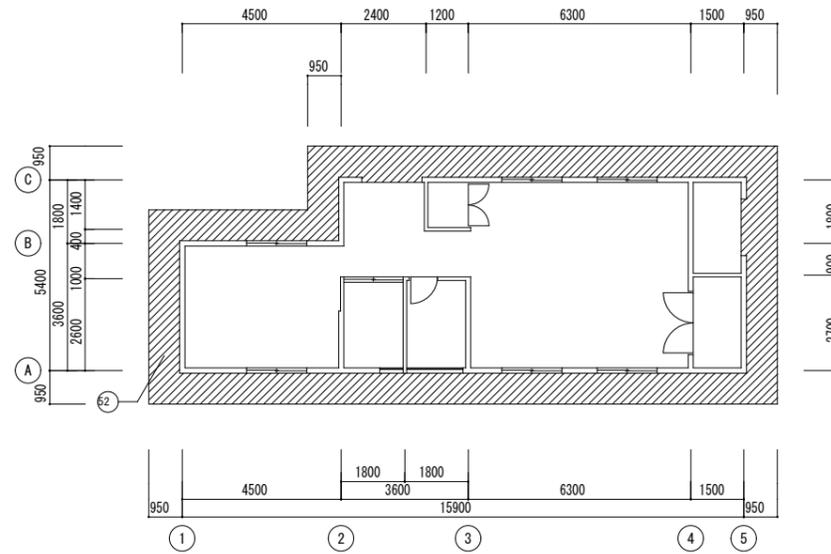
※ はアスベスト含有及びアスベスト含有みなしとする。

訂正前

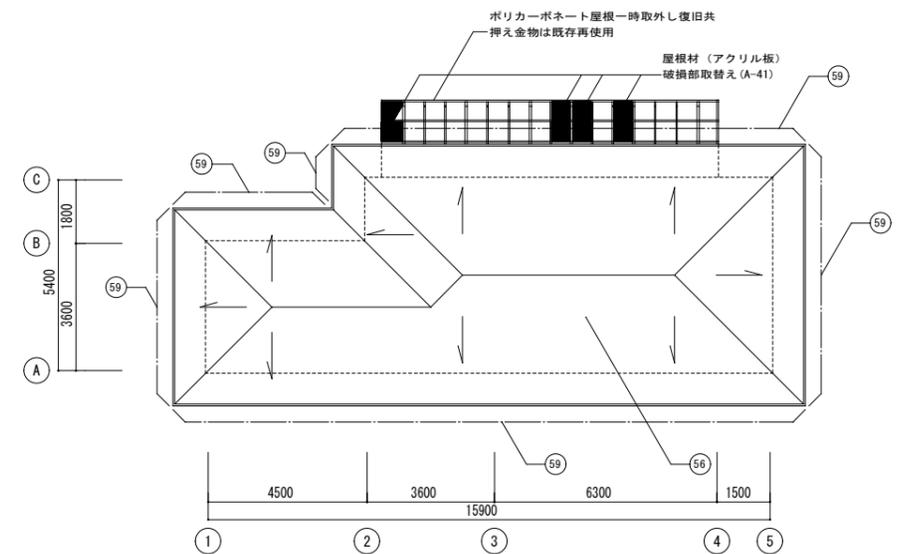
工事名称	上野芝宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事		
図面名称	工事範囲一覧表		
A3縮尺	—	A1縮尺	—
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A/10	
0	25	50	75



1階平面図 1/100



天井伏図 1/100

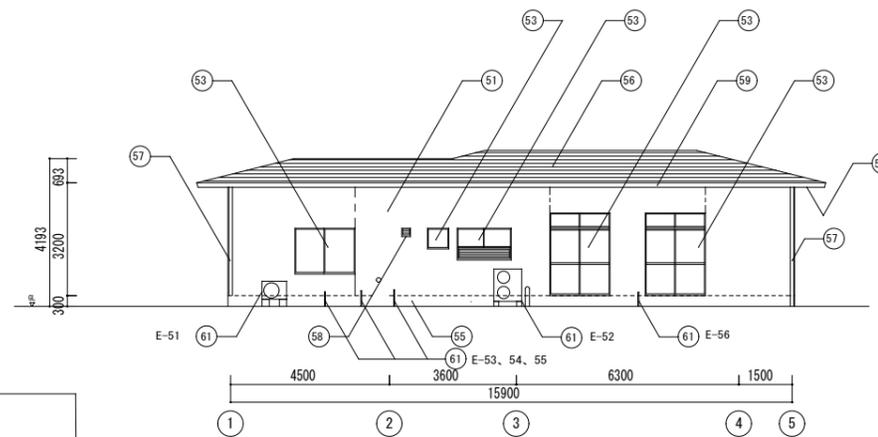


屋根伏図 1/100

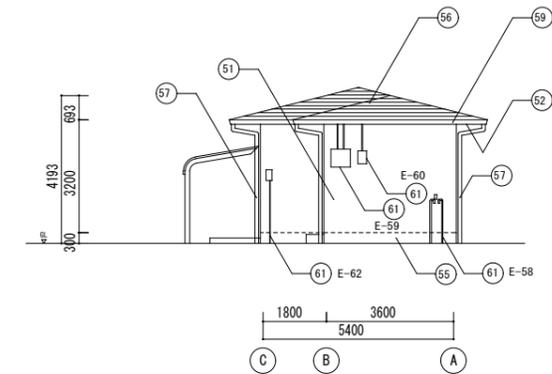
凡例

記号	改修項目	改修内容
51	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔下地：アスベスト含有〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材（C-2カチオン系）塗布の上、複層塗材（E）塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分（0.2mm以上）は外壁改修施工標準図（1）による。
52	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔下地：アスベスト含有〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材（C-2カチオン系）塗布の上、外装薄塗材（E）塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分（0.2mm以上）は外壁改修施工標準図（1）による。
53	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。（9箇所、枠及びガラス共、片面） ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング（MS-2）打替えとする。
54	鋼製建具	下地調整（RB種）、錆止め（C種）の上、SOP塗替えとする。（両面、枠共、既存同色とする。）目地は、変成シリコンシーリング（MS-2）打替えとする。
55	巾木（外壁）	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔下地：アスベスト含有〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材（C-2カチオン系）塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分（0.2mm以上）は外壁改修施工標準図（1）による。
56	屋根	棟金物撤去〔既存カラーベスト〕存置の上アルファルトルーフィング敷きフッ素ガルバリウム鋼板 t0.5mm 縦ハゼ葺き（カバー工法）
57	縦樋	既存撤去、新設 カラーVPφ100 スチール製溶融亜鉛メッキ支持金物
58	レンジフード	中性洗剤にてクリーニングを行う。 面台は、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水（X-2）を行う。（2箇所）
59	軒樋	塩ビ製既存軒樋 取替え 固定金物 取替（スチール製 溶融亜鉛メッキ）
60	目地（打継、誘発、化粧）	ポリウレタン系シーリング（PU-2）打替えとする。
61	設備盤等（設備工事）	下地調整（RB種）、錆止め（C種）の上、SOP塗替えとする。（両面、枠共、既存同色とする。）目地は、変成シリコンシーリング（MS-2）打替えとする。

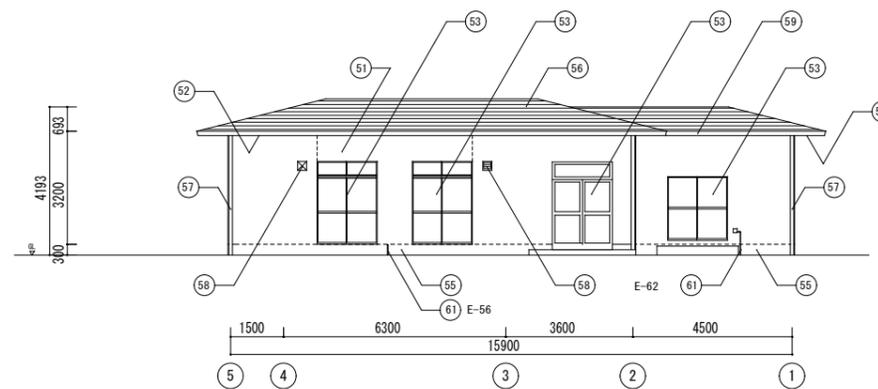
※ [] はアスベスト含有及びアスベスト含有みなしとする。



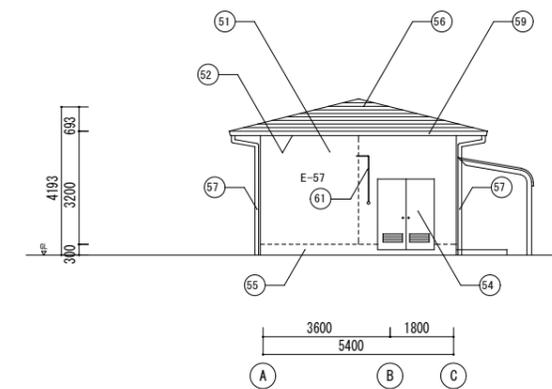
南側立面図 1/100



西側立面図 1/100



北側立面図 1/100



東側立面図 1/100

訂正前

集会所

工事名称	上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事		
図面名称	集会所 改修 平面図、立面図、天井伏図		
A3縮尺	1/200	A1縮尺	1/100
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A/39	

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 防水工事 (Waterproofing Work), 高分子系ルーフィングシート (High Polymer Luffing Sheet), 塗膜防水 (Coating Waterproofing), ケイ酸質系塗布防水 (Silicate-based Coating Waterproofing), 保証書 (Warranty), 漏水試験 (Leakage Test), シーリング (Sealing), 接着性試験 (Adhesion Test).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 施工一般 (General Construction), 既存防水の処理 (Existing Waterproofing Treatment), 天然石張り (Natural Stone Cladding), テラゾタイル張り (Terrazzo Tile Cladding), テラゾブロック張り (Terrazzo Block Cladding), 壁の石張り工法 (Wall Stone Cladding Method), 床及び階段の石張り (Floor and Staircase Stone Cladding), 陶磁器質タイル (Ceramic Tiles), 有機質接着剤 (Organic Adhesive), 陶磁器質タイル型枠先付け (Ceramic Tiles Formwork Pre-assembly), 役物 (Accessories), 見本焼き (Sample Firing), 伸縮調整目地 (Expansion Joint), 張付け材料の厚さ (Cladding Material Thickness).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for 木材 (Wood), 表面仕上げの程度 (Surface Finishing Degree), 集成材 (Engineered Wood), 接着剤 (Adhesive), 木材保存剤 (Wood Preservative), 床板張り (Floor Boarding), 防虫処理 (Ant Termite Treatment), その他 (Others), 長尺金属板葺 (Long Metal Sheet Roofing), 下葺材料 (Underlayment Material), 折板葺 (Folded Sheet Roofing), 保証書 (Warranty), とい (Remarks), とい受け金物 (Remarks Hardware), ルーフドレンの工法 (Roof Drainage Method), ステンレス表面仕上げ (Stainless Steel Surface Finishing).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 種別 (Type), 施工箇所 (Construction Location), 備考 (Remarks). Includes sections for アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (Aluminum Surface Treatment), 鉄の垂鉛めっき (Iron Zinc Plating), 軽量鉄骨天井下地 (Lightweight Steel Joist Ceiling Underlayment), 軽量鉄骨壁下地 (Lightweight Steel Joist Wall Underlayment), 手すり及びタラップ (Handrails and Staircases), 金属成形板張り (Metal Formed Sheet Cladding), アルミニウム製足木 (Aluminum Sill), 既存埋込みインサート再使用 (Existing Embedded Insulation Reuse), モルタル塗り材料 (Mortar Coating Material), 床コンクリートの直均し仕上げ (Bed Concrete Leveling Finishing).

訂正後

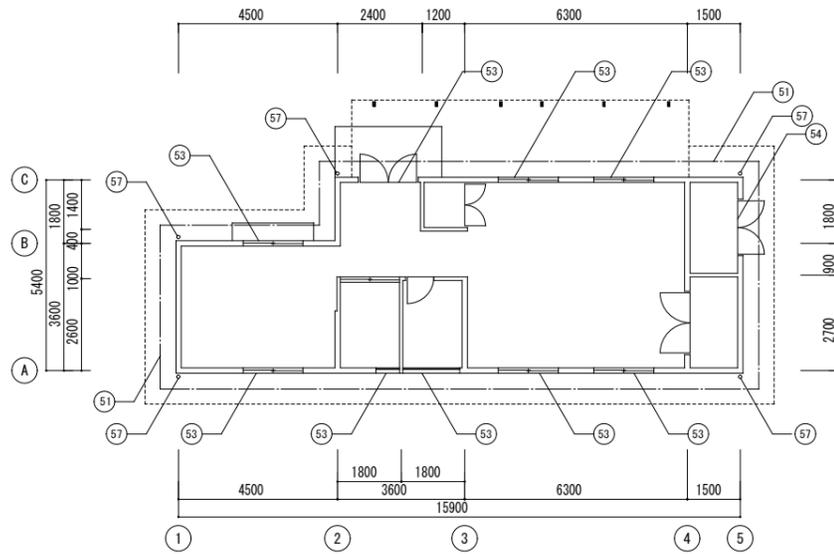
Table with 4 columns: 年次 (Year), 改訂 (Revision), 工事名称 (Project Name), 図面名称 (Drawing Name), 縮尺 (Scale), 製作者 (Author), 図面番号 (Drawing No.). Includes a scale bar at the bottom.

工事範囲一覧表				工事範囲一覧表				工事範囲一覧表				
棟名	記号	改修項目	改修内容	棟名	記号	改修項目	改修内容	棟名	記号	改修項目	改修内容	
1 棟 共 通	①	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕 脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	1 棟 共 通	①9	鋼製手摺 (階段)	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (①9 -1) 仕様、シーリング打替え箇所は設計図書A-30による。	集 会 所	⑤3	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。 (9 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	
		(バルコニー面)	②0		アルミ手摺 (階段)	中性洗剤にてクリーニングを行う。 (①9 -2)	⑤4		鋼製建具	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		
	②	(裏面)	②1		鋼製手摺 (窓)	下地調整 (RB種) の上、DP塗替えとする。 仕様は設計図書A-36による。	⑤5		巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		
	③	(EV)	②2		物干金物	・アルミ製 (100 箇所) 中性洗剤にてクリーニングを行う。	⑤6		屋根	・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。 棟金物撤去 既存カラーベスト存置の上アルファルトルーフィング敷きカラーガルバリウム鋼板 t0.5mm 縦ハゼ葺き (カバー工法) 既存撤去、新設 カラーVP t100 スチール製溶融亜鉛メッキ支持金物		
	④	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、吹付タイル〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②3	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (20 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)		⑤7	縦樋	中性洗剤にてクリーニングを行う。	
					②4	堅樋	・支持金物取替え (スチール製 溶融亜鉛メッキ) ・掴み金物足元廻りは、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		⑤8	レンジフード	中性洗剤にてクリーニングを行う。 面台は、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(2 箇所)	
	⑤	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②5	鋼製手摺・たて格子	既存鋼製手摺・目隠しパネル撤去の上、アルミ製手摺に取替え。目隠しパネル: アルミ複合板 t=6.0 (芯材:石綿セメント板) A-31~35 撤去の際は仮設計図面にある通り、入居者の落下養生手摺等施すこと。笠木天端は、不陸調整の為CM-2で平滑にする。		⑤9	軒樋	塩ビ製既存軒樋 取替え (塩ビ製角樋 120×120) 固定金物 取替 (スチール製 溶融亜鉛メッキ)	
					②6	ステンレス棟名称版	中性洗剤にてクリーニングを行う。(4 箇所)		⑥0	目地 (打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング (PU-2) 打替えとする。	
	⑥	軒裏 (庇)	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②7	アクリル階数表示板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(25 箇所) WxH=130x255		⑥1	設備盤等 (設備工事)	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	
					②8	ステンレス室名板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=270x135		⑥2	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、吹付タイル〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	
	⑦	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		②9	ステンレス揭示板	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所) WxH=720x410		ボ ン ブ 室	⑥3	目地 (打継、誘発、化粧)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所)
					②9	ステンレス集合郵便受け	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所)			⑥4	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(2 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
	⑧	笠木・面台	浮き、クラック、露筋、欠損等の笠木改修を行う。 ・防水モルタル面台部の浮きは、エポキシ樹脂注入とする。 ・防水モルタル面台部以外の浮きは、下地調整材〔(下地:アスベスト含有)〕除去の上、部分はつりをを行い清掃後、既調合補修モルタル塗りとする。 ・エアブロー工法にて清掃、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。〔⑨既設手摺撤去新設部に限り下地調整厚塗 (CM-2) を用いる。〕 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。		③0	ドレン (ストレーナー含)	中性洗剤にてクリーニングの上、ノンタール系エポキシ樹脂塗装替えとする。			⑥5	鋼製建具	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。
					③1	隔板 (W1,075 H1,800)	・破損部 (2 箇所) は、破損部 (W1,075 H1,800) ケイカル板 t=6.0 (アスベスト含有) 撤去の上、新設 (ケイ酸カルシウム板 t=6.0、素地ごしらえ (B種)、EP-G塗装とし、避難方向表示を行う。取外し期間中は進入防止措置を行うこと。 ・破損部以外 (44 箇所) は、下地調整 (RB種)、EP-G塗替えとし、避難方向表示を行う。 ・枠 (スチール製 溶融亜鉛メッキ) は、下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 ・〔アスベスト含有〕部分の撤去方法は、特記仕様書 (No. 6) による。			⑥6	設備盤等 (設備工事)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=235x190
	⑨	(バルコニー)	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		③2	屋上ハッチ (タラップ含)	・屋上ハッチ (600φ) :SUS製、既存利用。 ・タラップ (L=500、22φ3段) :SUS製、既存利用。 ・中性洗剤にてクリーニングを行う。 ・昇降路: 下地調整 (RB種) の上、複層塗材 (E) 塗りとする。			⑥7	屋根	既存防水 (モルタル防水) の上 塩ビシート機械固定工法 (リベットルーフ同等品)
					③3	昇降機扉	下地調整の上、外部用粘着剤付き塩ビ化粧フィルム貼り。(3M ^g イソックフィルムEXシリーズ 同等品)			⑥8	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (1 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)
	⑩	(階段)	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		③4	給気扉	下地調整 (RB種) の上、DP塗替えとする。(箇所、両面共) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。			⑥9	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。
					③5	換気扇フード	面台はケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。 中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所)			⑦0	目地 (打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング (PU-2) 打替えとする。
⑪	庇	浮き、クラック、露筋、欠損等の屋根面改修を行う。 ・天端浮き部分は、エポキシ樹脂注入とする。 ・鼻先浮き部分は、下地調整材〔(下地:アスベスト含有)〕除去の上、部分はつりをを行い清掃後、既調合補修モルタル塗りとする。 ・エアブロー工法にて清掃、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。	③6	床下換気口 (鋳鉄製)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(40 箇所)	⑦1	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(2 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。				
			③7	エキスパンドメタル	中性洗剤にてクリーニングを行う。(5 箇所)	⑦2	鋼製建具	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。				
⑫	目地 (打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング (PU-2) 打替えとする。	③8	パラボラアンテナ (電気設備工事対応)	移設、復旧。(6 箇所)	⑦3	設備盤等 (設備工事)	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=235x190				
			③9	牛乳受箱	中性洗剤にてクリーニングを行う。(50 箇所) WxH=235x190	⑦4	屋根	既存防水 (モルタル防水) の上 塩ビシート機械固定工法 (リベットルーフ同等品)				
⑬	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(300 箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	④0	風呂釜取出口	面台はケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。	⑦5	消火器ボックス	下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。(表面) (1 箇所、既存同色とする。) 操作表示板取替 (切文字共)				
			④1	駐輪禁止パネル	脱着。(5 箇所) 樹脂製 WxD=450 x 300	⑦6	巾木 (外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。				
⑭	鋼製建具廻り 手摺足元等	変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。(A-28、A-30)	⑤1	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。	集 会 所	⑦7	外壁		浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、複層塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		
			④2	排水溝 (バルコニー)	ケレン清掃後、下地調整の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) を行う。(巾木共)		⑦8	巾木 (外壁)		浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。		
④3	(階段)	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	⑤2	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。							
④4	PS扉	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	⑤2	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。							
④5	設備盤等 (設備工事)	外壁改修工事範囲にある鋼製設備盤等については下地調整 (RB種)、錆止め (C種) の上、SOP塗替えとする。 (両面、枠共、既存同色とする。) 目地は、変成シリコンシーリング (MS-2) 打替えとする。	⑤2	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有)〕脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材 (C-2カチオン系) 塗布の上、外装薄塗材 (E) 塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分 (0.2mm以上) は外壁改修施工標準図 (1) による。							

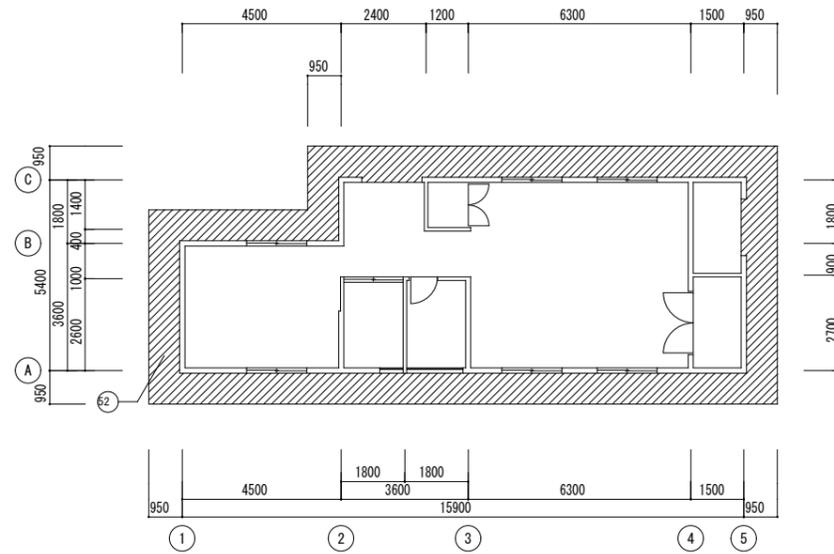
訂正後

※ [] はアスベスト含有及びアスベスト含有みなしとする。

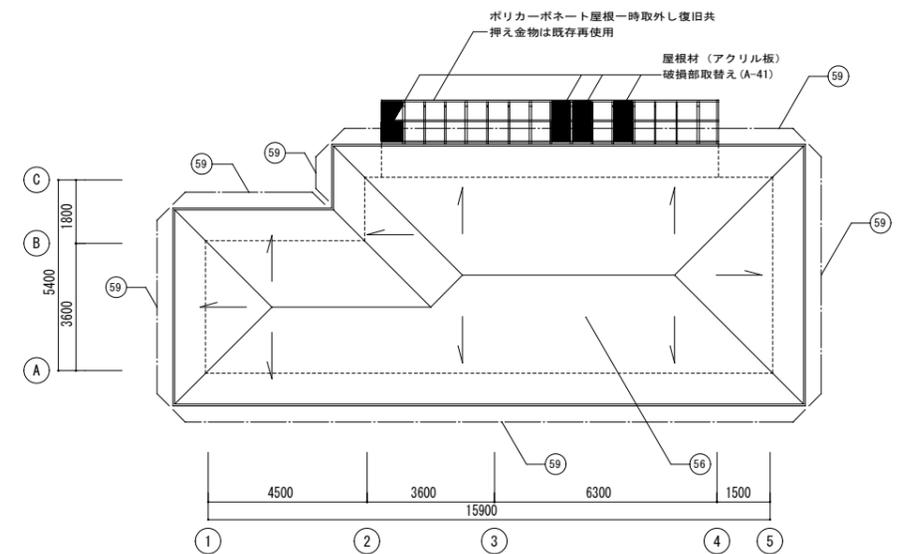
工事名称	上野芝宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事		
図面名称	工事範囲一覧表		
A3縮尺	—	A1縮尺	—
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A/10	



1階平面図 1/100



天井伏図 1/100

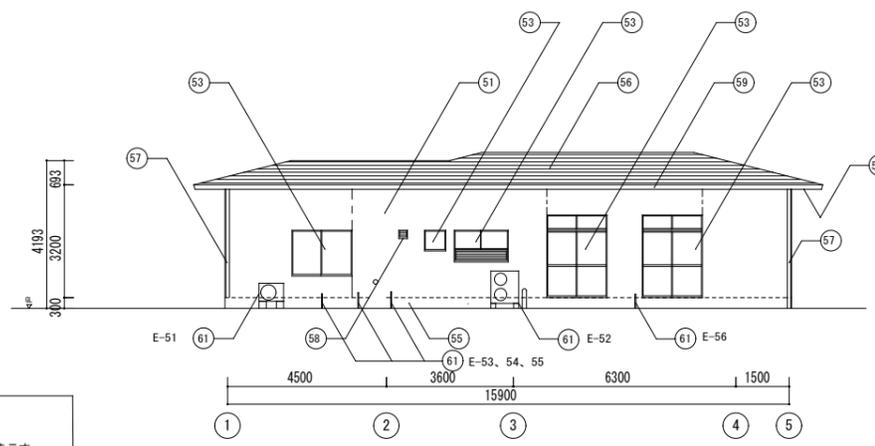


屋根伏図 1/100

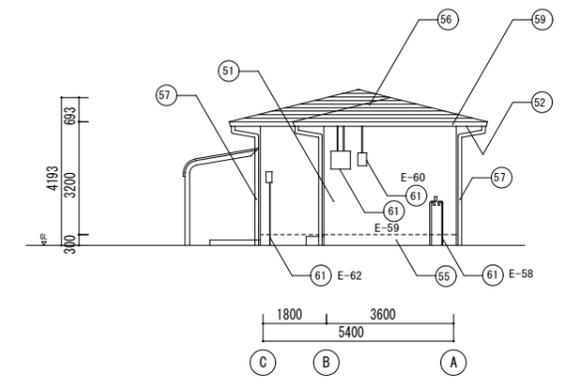
凡例

記号	改修項目	改修内容
51	外壁	浮き、クラック、露筋、欠損等の外壁改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有) 脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材(C-2カチオン系)塗布の上、複層塗材(E)塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分(0.2mm以上)は外壁改修施工標準図(1)による。
52	軒裏	浮き、クラック、露筋、欠損等の軒裏改修を行う。 ・塗膜部分は、アクリル系リシン〔(下地:アスベスト含有) 脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、シーラー、下地調整材(C-2カチオン系)塗布の上、外装薄塗材(E)塗りとする。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分(0.2mm以上)は外壁改修施工標準図(1)による。
53	外壁面サッシ、扉	・中性洗剤にてクリーニングを行う。(9箇所、枠及びガラス共、片面) ・塗膜塗材のガラスへの付着は、入念に除去すること。 ・目地は、変成シリコンシーリング(MS-2)打替えとする。
54	鋼製建具	下地調整(RB種)、錆止め(C種)の上、SOP塗替えとする。(両面、枠共、既存同色とする。)目地は、変成シリコンシーリング(MS-2)打替えとする。
55	巾木(外壁)	浮き、クラック、露筋、欠損等の巾木改修を行う。 ・塗膜部分は、〔(下地:アスベスト含有)脆弱部除去の上、エアブロー工法にて清掃、下地調整材(C-2カチオン系)塗布の上、全面にケイ酸質系塗材を塗布する。 ・浮き部分は、はつり工法とする。 ・クラック部分(0.2mm以上)は外壁改修施工標準図(1)による。
56	屋根	棟金物撤去〔既存カラーベスト〕存置の上アルファルトルーフィング敷きカラーガルバリウム鋼板t0.5mm縦ハゼ葺き(カバー工法)
57	縦樋	既存撤去、新設 カラーVPφ100 スチール製溶融亜鉛メッキ支持金物
58	レンジフード	中性洗剤にてクリーニングを行う。 面台は、下地調整の上、全面にウレタン塗膜防水(X-2)を行う。(2箇所)
59	軒樋	塩ビ製既存軒樋 取替え 固定金物 取替(スチール製 溶融亜鉛メッキ)
60	目地(打継、誘発、化粧)	ポリウレタン系シーリング(PU-2)打替えとする。
61	設備盤等(設備工事)	下地調整(RB種)、錆止め(C種)の上、SOP塗替えとする。(両面、枠共、既存同色とする。)目地は、変成シリコンシーリング(MS-2)打替えとする。

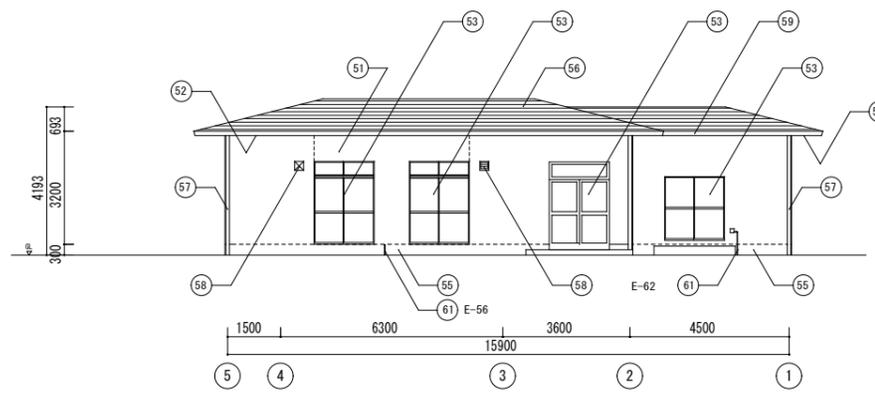
※ [] はアスベスト含有及びアスベスト含有みなしとする。



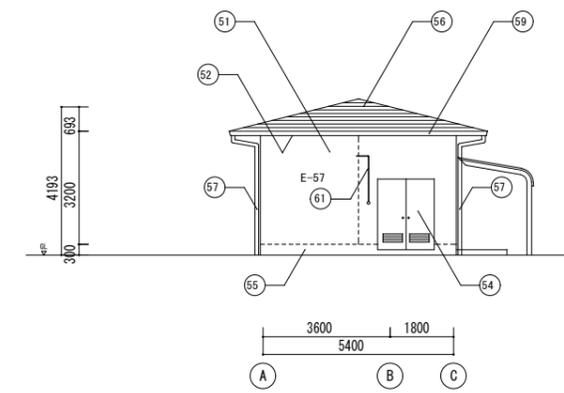
南側立面図 1/100



西側立面図 1/100



北側立面図 1/100



東側立面図 1/100

訂正後

集会所

工事名称	上野芝住宅1棟ほか3棟外壁改修ほか工事		
図面名称	集会所 改修 平面図、立面図、天井伏図		
A3縮尺	1/200	A1縮尺	1/100
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A/39	

集会所		防水改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去】						
シーリング撤去	集積共	95.4	m			
縦樋撤去	φ100VP管 集積共	16.8	m			
軒樋撤去	120角 集積共	50.2	m			
【改修】						
シーリング	鋼製サッシ 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	54.1	m			
シーリング	外壁打継、誘発目地 ホリウレタン系 (PU-2) 20×10	41.3	m			
塗膜防水 (サッシ面台)	X-2 100<W<=200 ケレン、下地清掃、下地調整、トップコート共	13.9	m			
塗膜防水 (換気扇面台)	X-2 150×300程度 ケレン、下地清掃、下地調整、トップコート共	2	カ所			
屋根 鋼板葺き	フッ素カールハリウム鋼板t0.5 縦ハセ葺き カバー工法	124	m ²			
ゴムアスファルトルーフィング	t=1mm 下張り	124	m ²			
棟包み 止面戸・エブロン共	フッ素カールハリウム鋼板 W500 t=0.5	13.6	m			
下り棟包み 止面戸・エブロン共	フッ素カールハリウム鋼板 W600 t=0.5	23.7	m			
谷樋	フッ素カールハリウム鋼板 W650 t=0.5	4	m			
軒先唐草 棧鼻キャップ共	フッ素カールハリウム鋼板 t=0.5	49.8	m			
高压エア-清掃		124	m ²			
縦樋	VP φ100 取付金物共	16.8	m			
軒樋	120*120 取付金物共	50.2	m			
計						

集会所		防水改修				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去】						
シーリング撤去	集積共	95.4	m			
縦樋撤去	φ100VP管 集積共	16.8	m			
軒樋撤去	120角 集積共	50.2	m			
【改修】						
シーリング	鋼製サッシ 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	54.1	m			
シーリング	外壁打継、誘発目地 ホリケレン系 (PU-2) 20×10	41.3	m			
塗膜防水 (サッシ面台)	X-2 100<W<=200 ケレン、下地清掃、下地調整、トップコート共	13.9	m			
塗膜防水 (換気扇面台)	X-2 150×300程度 ケレン、下地清掃、下地調整、トップコート共	2	カ所			
屋根 鋼板葺き	カラーガルバリウム鋼板t0.5 縦ハセ 葺き カバー工法	124	m ²			
ゴムアスファルトルーフィング	t=1mm 下張り	124	m ²			
棟包み 止面戸・エブロン共	カラーガルバリウム鋼板 W500 t=0.5	13.6	m			
下り棟包み 止面戸・エブロン共	カラーガルバリウム鋼板 W600 t=0.5	23.7	m			
谷樋	カラーガルバリウム鋼板 W650 t=0.5	4	m			
軒先唐草 棧鼻キャップ共	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	49.8	m			
高压エア-清掃		124	m ²			
縦樋	VP φ100 取付金物共	16.8	m			
軒樋	120*120 取付金物共	50.2	m			
計						